

令和3年度 事業報告

1. 概況

一昨年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受ける中において、契約金額は前年度を上回る 1,274,892 千円で、前年比 4.2%増、金額にして 51,947 千円の増収となりました。

特に派遣契約金額においては、小中学校及び保育施設の消毒作業や一部の製造業、介護施設の増員により、前年比 11.1%増の 68,273 千円の増収となりました。逆に請負・委任契約金額においては、剪定、冬囲いなど外仕事の後継者不足等により、前年比 2.7%減の 16,326 千円の減収となりました。

契約件数においては、13,088 件（前年度 13,856 件）と前年に比べ 768 件（公共+44、民間▲146、家庭▲666）減少し、主に一般家庭の契約が大幅に減少した結果となりました。

会員数においては、市民向けの広報などマスメディアを活用した会員募集のほか、出張説明会や女性会員限定入会説明会、1月から3月の会費無料キャンペーンなど、様々な取り組みを行ってまいりましたが、病気や加齢などの理由による男性会員の退会者が多く、全体で 2,955 人（前年度 2,988 人）と前年に比べ 33 人減少しました。

就業実人員は、2,603 人（前年度 2,527 人）で 76 人の増加、就業率は 88.1%（前年度 84.6%）で 3.5 ポイント増加、就業延人員は、272,972 人日（前年度 257,467 人日）と 15,505 人日の増加となりました。

事故件数については、傷害・賠償事故あわせて 47 件（前年度 39 件）で、傷害事故においては、主に転倒事故と外作業における蜂刺されが多く発生し、賠償事故においては、主に機械除草による飛石事故と車両運転による事故が多発しました。契約件数が減少しているにもかかわらず、事故件数が増加したことや毎年、同様の事故が発生している状況から、事故要因の分析と具体的な安全対策の徹底、更に会員の安全意識の高揚を図るなど事故撲滅に取り組む必要があります。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ不透明なことに加え、東ヨーロッパにおける紛争に伴う経済の低迷の懸念はありますが、これからも積極的な事業の推進と安定的な事業基盤の確立を目指すとともに、高齢者の社会参加を一層進め、活力ある地域社会づくりに貢献するため、センターが蓄えた組織力を発揮し、更なる飛躍を遂げていきたいと思いをします。

次のとおり、令和3年度に実施した主な事業について報告いたします。